

2022年 11月 2日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体名	一般社団法人とおがったプロジェクト
連絡先	(団体電話) 090-8615-9054 (団体 FAX) ・ (団体 e-mail) air.tr044@gmail.com (団体ホームページ) https://www.tr044.org
代表者名	佐藤 雅宣 (役職) 代表理事

1. 助成事業報告

事業名	モノ・コトで回す 「ギブミーベジタブル」の開催
目的	<p>「衣食住」は人間の最低限必要とされるインフラの意味合いもあるが、 衣・・・その人を表す(個) 食・・・人と人との関係性を円滑にする(コミュニティ) 住・・・コミュニティをより強固にする と言う側面があり、「食」はコミュニケーションの間に必ず存在するものである。 「ギブミーベジタブル」は、入場料をお金の代わりに食材とすることで、みんなが持ち寄った食材を使い、そこに集まったシェフ達が即興で料理をし、出来上がった料理をみんなで少しずつ分け合いながら食べるというイベントである。 お金とはまた違った価値の共有。「食」を通じて、その場に集まったみんなが想いを共有する事で、「コミュニティの大切さ」を改めて再認識すること。 そして、そこから地域の中での「アイデンティティ」や「コミュニティの醸成」に繋げる事が可能となり、地域活性化の原動力を育んで行く事に繋げて行く事を目的とする。</p> <p>※参考「ギブミーベジタブル」ウェブサイト https://www.givemevegetable.com/</p>
実施内容	<p>●イベント開催 8/11(木) 11:00~15:00 10/10(月) 11:00~15:00 会場 遠刈田温泉 神の湯前イベント広場</p> <p>来場者 8/11 のべ121名、10/10 のべ84名</p> <p>●イベント内容 入場料をお金の代わりに食材とし、みんなが持ち寄った食材を使ってシェフ達が即興で料理をし、出来上がった料理をみんなで少しずつ分け合いながら食べるという新しい形の「食×音楽」の体験型イベント。お金ではなく食材が通貨となり、食材というコミュニケーションツールを通じて「お金の役割とモノの価値」につ</p>

	<p>いて考え、交換することの楽しさを感じ、自らが持ってきた食材でイベント自体に反映させられるという子供から大人まで楽しめるイベントとした。</p> <p>●タイアップ企画内容 イベント開催にあわせて下記商店街各店舗で、ギブミーベジタブル用で食材を購入した方の購入商品の8%または10%(消費税分)を割引するキャンペーンを行い、イベント会場と遠刈田商店街各店舗で一体となって集客を図った。</p> <p><参加・協力店舗> 8店舗 フードショップきむら(8月のみ)/小野幸商店/あいざわ鮮魚店/大八精肉店/BRING/大本とうふ店/木村商店/長谷川とうふ店</p> <p>●紙媒体製作、配布<7/17~8/1、10/01~10/07> デザインデータをベースに紙媒体を制作し、観光案内所、こけし館、及び町内商店への配布を行った。 (紙媒体は別途添付)</p>
<p>開始から終了までの流れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●料理人ブッキング：4/1~4/15 ●会場予約・調整：4/16~5/8 ●インフラ(熱源・水道)確保・調整：5/9~5/20 ●チラシ・広報制作：5/20~6/15 ●情報リリース：7/17 ●イベント実施：8/11(1回目) ●情報リリース：10/01 ●イベント実施：10/10(2回目)
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>・会場に来る→イベントの内容の説明を聞く→イベント参加の為(食材を買う)に、商店街の回遊を作ることが出来た。</p> <p>・フードショップきむら協力の元、特産野菜等を会場内でポップアップ販売などもすることが出来、会場内で野菜の販売やお店の方とのコミュニケーションの醸成にも繋がった。</p> <p>ギブミーベジタブルのイベントにおいて、付近の商店街や魚屋、肉屋等からの購入→持ち込み等があり、2回のイベント終了後、商店街内へヒアリングしたところ、</p> <p>BRING：9.0万円、小野幸商店：14.2万円、 フードショップきむら：8.0万円、相沢魚店：5.0万円、 大八精肉店：10.6万円、木村商店：13.0万円 (合計：59.8万円)</p> <p>のギブミーベジタブル関連の食材・商品の買い上げがあった。</p> <p>チラシ制作後、事前通達の為、商店街への配布と説明の段階から、「今年は盆踊りも無いから、イベントがあることにワクワクする」などの、期待感が既に商店街に漂い、前日の設営等においては、近隣住民なども手伝いに来て頂き、地域・商店街でお祭りを創り上げていく雰囲気を作ることが出来た。</p> <p>ギブミーベジタブル実施中においては、付近の商店から野菜や肉のみならず、乾物や缶詰など「あまり使う機会のない食材」の持ち込みが商店街事業者からもあり、「どうやったらおいしく食べられるか？」等、料理人と参加者のコミュニケーション</p>

	<p>も弾む雰囲気となった。</p> <p>一般参加者やアルバイトの大学生からも、遠刈田温泉や商店街を強制的に歩くことで、知らない商店や、知らない商品、新たな魅力を知ることが出来、「遠刈田温泉がすごく好きになった！」との感想が上がっている。</p> <p>一方で、8/11 際には途中で大きな通り雨(14:00-15:00 頃)があり、終わりかけではあったものの、一旦イベントを止めた時間が発生した。今回は、ほぼ晴天であった為、問題はなかったものの、雨天の場合は、企画そのものが総崩れとなってしまう為、雨天時のバックアッププラン等についても今後検討の余地がある。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>今後の課題としては、現在、空きテナントとなっている場所を多目的スペースとして有効活用をする為、地域事業者として根強い交渉を重ねていく方向も視野に入れ、商店街の利用方法を多角的に広げていく活動へと転換していきたい。</p> <p>また、商店街内回遊の経済効果は出てはいるが、それでも 9 月いっぱいフードショップきむらが閉店するという事実が発生している。地域そのもののポテンシャルが低下している中で、地域の新陳代謝を促し、街の持続的な発展の為に必要な変革は一朝一夕では難しいとすることを目の当たりにした。</p> <p>いま一度、「遠刈田温泉」という場所の持つ歴史と文化について洗い出しを行い、地域にとって必要な事は何か？を探っていかなければ、どの様なプロモーションを行っても、一時的なものでしかなく、地域観光業の底上げには繋がって行かない。この為、遠刈田温泉の歴史や、いま残っているもの（建築物や伝承など）にもう一度フォーカスし、それらのリサーチに注力し、次年度以降の事業のアイデアへと繋げていく。</p>

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金	300,000	
自己負担金	113,600	当社財源より負担
合計	413,600	

(2) 支出の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
謝金	料理人謝金	200,000	275,000	275,000	1
広報費	チラシ制作費	96,000	138,600	25,000	2
消耗品費	LP ガス・ごたく レンタル費	50,000	0	0	-
	調味料等材料費	20,000	0	0	-
合計		366,000	413,600	300,000	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー (助成金から支出した分のみ) 番号を振ってください
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など)
(※写真は HP に掲載可能なものを送付ください。)

(8/11 実施分)



野菜を物色するシェフ

夕方ディスプレイした行燈

出来上がった料理など



イベントで演奏を楽しむ来場者

フードショップきむらの
ポップアップショップ

会場全体の様子

(10/10 実施分)



会場全体の様子



出来上がった料理など